

教育センター便り

長野市教育センター
長野市大字鶴賀550番地2
TEL 026-226-7486
FAX 026-264-7570
責任者 佐藤 文博



○学校の桜がハバリ
城山小学校 小嶋 諒 春の風



○花さきし 城山桜 ここにあり
城山小学校 岡宮 露

常に大事にされてきた 非認知能力

～今 何が違うのか～

教育センター所長 佐藤 文博



しなのきプランⅡが2年目を迎えます。長野市教育センターでは、しなのきプランⅡの理念や重点に沿った講座構築を心掛け、プラン推進に向け連携を図ってきています。特に、「非認知能力」にかかわる内容については、全校から受講者が集まる指定研修の中にも位置付け、理念や方向の共有が図れるようにして来ています。

そんな中でふと考えるのは、「非認知能力」の重要性については、今いろいろなところで取り上げられていますが、新しいものということではなく、もともと大事に考えられていたことだということです。第Ⅰ期しなのきプランにあたる「しなのきプラン29」（H27～H29）では、長野市の学力観を定義し、「生きる力」をつけるための学力保証に取り組みました。その時示されたのは、A学力（知識・理解）、B学力（思考力・判断力・表現力）、C学力（意欲・態度）、そしてC学力を長野市が大切にしたい資質・能力だと明言して、「未来力、自律力、絆力、実践力」と細分化して示しています。まさに、現しなのきプランⅡの自学自習の資質能力の観点に真っすぐつながっています。そして、まさにそれが非認知能力です。

ここからは私見になりますが、

「しなのきプランⅡ」の一番の根底にある思いは、今までの知識理解を中心にした「学習観・子ども観からここで本当に脱却しなければ」という危機感です。

そのためになんとしても必要と考えたのが、しなのきプラン当初に示されたC学力、つまり非認知能力の重要性です。この非認知能力にしっかり着目し、それをきっかけに、学習観・子供観の転換を図ろうとしています。その、切り札として「しなのきFinder」を導入しているのです。

切り札といっても、「しなのきFinder」は目的ではなく、きっかけであり、それを元に、子どもをどう見るか、どう生かしていくかが重要です。

もともと、点数化できない、思いやりだとか、協調性、粘り強さだとか、やる気 等々の非認知能力について、我々教員はずっと大切にできています。

日々の子どもののかかわりを思い起こしてみてください。我々教員は、点数うんぬんよりもその子の非認知能力を自然と意識し、その子を理解しようとしていることがほとんどです。

ただそれは、一人一人の教員が、それぞれに……。その生かし方も、伸ばし方も、ほぼ経験則で それぞれに……。でした。

そこに方向性を持たせ、方法論をみんなで考え、大きなうねりを作り出そうと「しなのきFinder」が動き出している。そう私は受けとめています。

今まさに、それを市内全校で実践に移そうとしているのが、しなのきプランⅡなのだと感じています。ぜひ、そんな視点からも教育センターの講座を選んで受講していただければありがたいと思います。

今年度の研修講座 ～学び続ける教職員を目指して～ 学習観・子ども観の転換

今年度の研修講座は、自らの力量向上を目指す「希望研修」41講座（ユニット）、教職員のキャリアステージに応じて指定している「指定研修」65講座（ユニット）、合計106講座（ユニット）を構築しています。

希望研修では「学びの改善を図るための研修、健康・安全・危機管理にかかわる研修、教育課題に対応した研修」を開講します。

指定研修では、キャリアステージや校務に応じて、マネジメント力の向上、幅広い力量の形成を目指し、研修を計画しました。

いずれも文部科学省の教科調査官、信州大学をはじめとする大学の先生方等、大勢の外部講師を招聘し、充実した研修講座となるよう構築しています。

また、昨年度より始まった「しなのきプランⅡ」の4つの重点プロジェクト（未来、絆、安全・安心、充実）との関連が分かるように各講座ごとに表記していますので、意識して受講を計画していただきたいと思います。

受講後、感想記入用紙をスマホ等で写真にとるか、廊下にあるコピー機でコピーをとるかして、自分の受講履歴とともに、研修の足跡として大事に保存していきましょう。

「全国教員研修プラットフォームPlant」に、受講講座を履歴として残す場合は、「受講履歴登録」を行ってください。

初任者研修 ～春期スタート研修～

4月8日に令和7年度初任者研修の「春期スタート研修」が行われました。

近藤 守 教育長職務代理者からは「初任の先生に期待すること」について講話をいただきました。



【受講者の感想】

「教師というと「教えること」を考えがちだが、子どもと共に学ぶ、保護者の方と共に育てる「共育」というキーワードを大切にしていきたいと思った。具体的には、めあてや目標を決めるときに、教師側から指示するのではなく、一緒に考えるようにしたい。また、「子どもに先生と認められる」ためには、一緒になって取り組むこと、子どもに伝える一言の重みを自覚することが必要であることが理解できた。実践していきたいです。

また、「教育公務員として」、「教員としての礼儀マナー」等についての講義を通して、求められる使命や任務を理解し、目指す教師像について考えました。

【受講者の感想】

見通しをもって行動し、自分の行動がまわりからどのように見られる客観的に見ることが大切だと感じた。そして、何か困った時には周りに相談できるようにしていきたいです。また、講義の中の「教育は人なり」という言葉が心に響きました。豊かな感性、専門性や品位を持った教員になりたいと思いました。

（宮澤 剛彦・末松 辰規）

理科教育センター

本年度は、下記の学習、教職員研修、支援を行っています。

1 理科教育センター学習

6年生の学習は、学級毎に1時限80分の授業を3時限行います。3時限のうち2時限は実験室で観察実験授業、1時限はプラネタリウムで天文授業を行います。観察実験授業は、昨年度よりプログラミング学習を加えた9つの授業の中から、各小学校が選択した2つの授業を行います。学級担任（理科専科）の先生方には事前に学習指導案をお送りして、授業内容を理解していただき、サブティーチャーとして一緒に授業を進めていただきます。

4年生の天文学習は、希望した小学校がプラネタリウムを使用して、原則3学期に行います。1時限70分の授業です。

教育支援センター（旧中間教室）の理科学習は、市内各教育支援センターで学習している皆さんが理科教育センターに来て行います。中学生が多いため、6年生の学習をベースにして、中学の学習内容を加味した授業を、春と秋の年2回行います。

2 理科研修講座

市の教育センター研修講座として行います。受講者の自己課題やニーズに沿った研修ができるように、講座の内容を工夫していきたいと考えています。小学校中学年・高学年講座に加えて、今年度より中学校講座を開講します。

3 理科教育に関する学習支援

「しなのき派遣」により、理科室の整備、薬品庫の管理、教材教具の製作等、理科教育に関すること全般のお手伝いをします。また、先生個々の疑問や課題を解決するための個別講習を行います。電話でご相談ください。

教材の提供（ホウセンカ・オシロイバナの種子、ホテイアオイ、メダカ、ミドリムシ、ゾウリムシ、火山灰、小学3年種子セット、オオカナダモ等）と実験器具の貸し出しを行います。（小中別の貸出備品一覧表を第1号の理科教育センターだよりに添付して送信済みです。）

4 理科学習についての情報発信と連携

「理科教育センターだより」、「星のたより」により、教材や指導方法、その時々トピックを紹介して、学校の理科学習に生かせるようにしていきたいと考えています。

学校現場のニーズに応える支援に努めてまいります。今年度も理科教育センターをご活用ください。

（中野 潔）

教育研究委員会

1 目的

「しなのきプランⅡ(令和6年度～8年度)」と長野市の教育課題を踏まえ、【子どもを観る・子どもの声を聴く・子どもと対話する】ことを通して、子どもが主体的に学び、他者と協働しながら問題を解決していく力を育む授業を目指します。さらに、ICTの活用を図りながら実践的な研究を推進していきます。また、長野上水内教育会との共同研究を継続し、研究成果の普及と活用の強化を図ります。

2 研究テーマ

「非認知能力を育む」(2年目)

3 研究内容

(1) 研究委員会による研究

7委員会による授業研究を行います。

(2) 授業公開

各委員会小学校、中学校1校ずつの授業公開を行います。

(3) 研究成果の発信

研究の成果を「教育センター便り」、「長野市の教育」、ポータルサイトへ掲載します。



(写真は昨年度の公開授業の様子)

4 各委員会の組織

□代表 ◇世話係校長 ◆世話係教頭
◎委員長 ○副委員長

<国語科学研究委員会>

◇関川あかね(豊野東小) ◆花岡精子(三水小)
◎樋口達也(市立長野中) ○塚本真里子(信濃小中)
・佐藤芙美(芹田小) ・桑田一磨(大豆島小)
・青木友佳里(塩崎小) ・青木蘭奈(川中島中)
・井出峻太(広徳中)

<社会科学研究委員会>

◇阿部悦夫(青木島小) ◆百瀬仁晶(裾花中)
◎塚原昌裕(通明小) ○塚尾誠貴(市立長野中)
・吉田大輔(鍋屋田小) ・米澤雄太(昭和小)
・山口僚馬(柳町中) ・三溝高洋(櫻ヶ岡中)
・黒岩正章(信州新町中)

<算数・数学科研究委員会>

◇山中美佳(戸隠中) ◆増田智子(裾花小)
◎阿部将樹(南部小) ○中村 勝(東部中)
・町田怜香(裾花小) ・赤津光希(三本柳小)
・西澤雄貴(東北中) ・小出俊貴(大岡中)
・中澤徹也(市立長野中)

<理科学研究委員会>

◇小林俊子(芋井小) ◆岡宮隆吉(小川中)
◎畔上達也(裾花中) ○増尾知之(三陽中)
・金箱仁志(緑ヶ丘小) ・竹内 輝(裾花小)
・神山夏実(若槻小) ・倉島拓海(小川中)
・小池佑貴(市立長野中)

<外国語活動・外国語科学研究委員会>

◇嶋田勝彦(櫻ヶ岡中) ◆高木 淳(北部中)
◎白鳥友樹(市立長野中) ○丸山綾子(南部小)
・湯本裕太郎(城山小) ・坂本尚子(大豆島小)
・山内 薫(柳町中) ・宮澤 愛(篠ノ井東中)
・宇野田陽実子(豊野中)

<体育・保健体育科学研究委員会>

□◇宮崎 忠(市立長野中) ◆宮澤 勲(安茂里小)
◎青木孝文(市立長野中) ○濱 彰吾(信州新町中)
・久保田智絵美(緑ヶ丘小) ・遠山大紀(城東小)
・小池 市(大豆島小) ・宮澤 慶(綿内小)
・加納茉弥(松代中)

<道徳科学研究委員会>

◇中村 努(信州新町小中) ◆中村 哲(古牧小)
◎本間大貴(豊野西小) ○今井智文(篠ノ井西中)
・五味 晶(三輪小) ・吉田なぎさ(通明小)
・永井由美子(川中島小) ・戸島雄司(松代中)
・相馬一成(市立長野中)

委員は、それぞれ授業公開を行います。長野市教育センターの研修講座において、初任研(2年次)、キャリアアップⅠ・Ⅱの研修となる授業もあります。大勢の先生方に参観していただきたいと思います。

(片山洋一)

就学相談を進めるに当たって ～申し込む前に振り返ってください～

令和 7 年度の就学相談が始まりました。今年度もよろしくお願いいたします。

申し込みをしていただく前に、ご一考いただきたいことをお伝えいたします。

ご存知のように「しなのきプランⅡ」の重点プロジェクトの中に「絆プロジェクト」があります。その核心は学校・学級のインクルージョン(包摂)です。それと連動するかたちで、教育支援委員会の方針のトップに「通常の学級に軸足を置いた判断」が掲げられています。つまり、これから始まる就学相談も、特別支援学級などへの入級ありきではなく、あくまでも学校・学級でのインクルージョンを基本に考えているということです。

「絆プロジェクト」にはインクルーシブな学校・学級実現への方策として、お互いを認め合い、多様な個性を生かし、ユニバーサルデザイン化や合理的配慮、そして発達支持的生徒指導による学びやすい学習環境や授業づくりを進めていくことが明記されています。

ここで授業づくりについて少し考えてみましょう。すなわち、教師の指示・説明・質問に対して児童・生徒が適切なタイミングで適切な応答をし、教師がそれを評価するといった従来の一方的な流れ(信大教育学部 楠見友輔先生が指摘されている「I (Initiation) – R (Response) – E (Evaluation)連鎖」※)から、少しでも子ども同士の話し合いやかかわりを取り入れながら、対教師という直線的な学習軸でなく、子ども同士が「難しい感・分からない感」を共有して解決に向けて考えていくという、子どもが主体になる活動場面を増やす必要があると思います。つまり、困り感のあるお子さんは、教師の意図をスムーズに汲み取ったりそれに応答したりすることが苦手なために、授業に参加できないでいることが多いのではないのでしょうか。そうしたお子さんをすぐに特別支援学級入級などの措置替えの方向に進めていくのではなく、前記のような方法で通常の学級で包摂していくことを第一義に考えるべきではないかと思います。

併せてそこには、今注目されているところの意欲、協調性、セルフコントロール力などの非認知能力にも着目して授業づくりやお子さんの評価を考えていくことが必要なのではないのでしょうか。更に、その子の興味や得意に軸足を置くことで必然的に苦手な部分の発達を促す、言わば面としての発達を志向する支援もいつも大切にしたいところです。

各学校よりお申込みいただきました就学相談につきましては、10名の相談員一同、精一杯取り組んで参る所存です。どうかよろしくお願いいたします。(大井 透)

※参考資料：楠見友輔(2018) 学習者の「媒介された主体性」に基づく教授と授業。

教育方法学研究 43, 49 – 59

令和 7 年度の職員と直通電話番号等をお知らせします。

担 当	職 員	電話・FAX
総務担当	所長：佐藤文博 職員：中村博幸 清水和彦 小泉陽子	電話 226－7486 FAX 264－7570
研修・研究担当	主任指導主事：宮澤剛彦 指導主事：末松辰規 柳澤征之 大上みどり 中澤康匡 片山洋一 小林由起子(兼務)	電話 223－0070 FAX 223－0097
理科教育センター	指導主事：中野 潔 池田淑恵 早川和仁	電話 284－4490
就学相談担当	主任指導主事：北沢浩美 指導主事：大井 透 中澤 寛 八田秀明 小林治雄 池上昭子 村田章子 小出まゆみ 櫻井真治 小尾昭人	電話 264－6546 228－0950 電話 (FAX兼用) 226－7509

※教育センターにお電話をいただく際は、上記の表を参考に担当の直通番号をご利用いただくよう、お願いいたします。